



電話と手紙

校長 中山 恭平

上京してすぐの大学1回生の頃、実家に電話をかけるときは、決まって合宿所近くにある公園の公衆電話から「106」番を利用していました。

「106」番とは、通話先が通話料金を支払うという「コレクトコール」で、オペレーターを経由して、相手が料金の支払いを承諾した場合にだけつながるシステムでした。

その頃の私は、親からの仕送りを何とか節約しながら生活をしていたつもりですが、なぜか月末を持たず「106」番に毎月のようにお世話になっていました。

初めの頃は、母も気にかけて心配していろいろ励ましてくれました。しかし、毎月何度も電話をするようになったある日の電話で、母から、「電話は元気な声が聞けて嬉しいけど・・・でもね、手紙の方はもっと嬉しいと思うよ」と言ったことを今でもよく覚えています。

そんなことがあったある日、母から小包が送られてきました。元気が出るようにと「黒砂糖」が入っていて、そこには1通の手紙が添えられていました。「体調はどうか。部屋の先輩や友人を大切にね。あなたが、元気であることが父ちゃんと母ちゃんにとって一番の幸せだからね。」と見覚えのある母の文字が書かれていました。私のことを想う母の手紙は、故郷を離れて合宿所生活をする私にとって、何よりも「元気の源」でした。

電話では伝えることのできない「手紙」のよさを痛感しました。そして、いつか電話で言っていた母の言葉の真意に気づいたのでした。母の手紙を読んだとき「人を想う心があれば必ずその想いは届く」そんな想いにさせられた至福の時でもありました。

それからの私は、できるだけ手紙を通じて近況報告をするように努め、以前より手紙を書くことが習慣になったように思います。

携帯電話が普及して30年、スマートフォンは、もはや生活の一部となっていると言っても過言ではありません。この便利なツールを活用できることは大事なことでもあります。

しかし、利便性の追求だけでは、人と人との絆を深めたり、みずみずしく暮らしたりすることは難しいのではないのでしょうか。手紙に書かれた文字から、書いた人の心持や書かれた場所さえ、読み手には想像できます。メールやライン、ビデオ通話にはない手紙の良さを、私は母の手紙の思い出から身に染みて分かっています。

日本の伝統文化とも言える手紙・短文の葉書でもよいと思います。身近な人を書いてみませんか。きっと、投函する時・返事を受け取った時、その良さに必ず気付くはずですよ。人と人との結びつきは、手紙のやり取りと同じようにゆっくり深まっていくのだと思っています。



市郡総体 6月1～14日

6月1日の陸上競技を皮切りに14日の水泳競技まで、市郡総体が開催されました。本校から参加した選手たちは、14の競技で、それぞれ熱戦を繰り広げました。残念ながらこの大会で中学校生活の部活動を終える3年生もいましたが、皆、それぞれの持てる力を十二分に発揮したことと思います。県大会出場を決めた選手の皆さんには、さらに上を目指して夏休みまで練習に励んでほしいと思います。結果は以下のとおりです。



<大会結果>

軟式野球 第3位 → 県総体へ
 男子バレー 第3位 → 県総体へ
 女子バレー 決勝トーナメント進出
 男子バスケ 上位進出ならず
 女子バスケ 上位進出ならず
 サッカー 上位進出ならず
 男子ソフトテニス 団体戦2回戦進出 個人戦3回戦進出
 女子ソフトテニス 団体戦上位進出ならず 個人戦2回戦進出
 卓球 団体戦上位進出ならず 個人戦4回戦進出 → 県総体へ
 剣道 男子個人 2回戦進出
 陸上競技 共通女子走高跳第6位 共通男子800m第2位
 3年男子1500m第3位、第6位 → 3名4種目県総体へ
 新体操 男子個人 第2位
 テニス 女子個人 2回戦進出
 空手道 女子個人2年組手 第3位 2年形 第2位
 水泳 女子100m平泳ぎ 第2位

スマホ・ケイタイ人権教室

6月20日 6限目にNTTドコモと人権擁護委員が協力して行う人権教室が行われ、本年度はリモートという形でスマートフォンや携帯電話の正しい使用方法についてお話をいただきました。

生徒たちはドコモのインストラクターと人権擁護委員の奥美恵子さんの話を真剣に聞き、人権の視点に立った形で、自分の身にも起こりかねない危険について考えていました。



図書委員会による読み聞かせ

5月27日の朝読書は図書部の皆さんによる読み聞かせが行われました。図書部の皆さんはこの日まで図書室にある絵本を選び、読み聞かせの練習をしてきました。練習の成果もあり、各クラスの生徒たちも真剣に聞き入り、和やかな朝読書の時間を過ごすことができました。

図書委員の皆さん、ありがとうございました。



教育実習 お疲れさまでした

英語科の教育実習生として母校で教鞭をとっていた鹿児島純心女子大学の植村由貴先生の教育実習が6月11日で終了しました。3週間という短い期間ではありましたが、一生懸命、実習に取り組む姿には、本校の職員も「初心に戻って頑張らねば」と勉強させられました。正式採用となり、いつか本校に戻ってくる日を期待しています。



日	曜	行事予定表	SC 来校日
4	月	性に関する指導(2年)	
5	火	学年朝会(1・2年)	中島(AM)
6	水	地域生徒会	
7	木	学年朝会(3年)	
8	金	維新合唱祭	
9	土	土曜参観 性に関する指導(3年) PTAリサイクル(紙類を回収)	
11	月	性に関する指導(1年)	
12	火	ストレスマネジメント	中島(全日)
13	水	生徒会の日	市川(AM)
14	木	県民の日	
15	金	職員研修	
18	月	海の日	
19	火	班活動の反省	中島(全日)
20	水	終業式	
22	金	夏の祭典(PM)	
23	土	県中学校総体(~29日)	
28	木	県吹奏楽コンクール(AM)	

カウンセリング(スクールカウンセラー:中島先生 or 市川先生)の申し込みは、担任または教頭まで連絡をしてください。

学校の最新情報は本校ホームページ (<https://www.keinet.com/shimizuc/>) で!
 右のバーコードか、**鹿児島 清水中**で検索してください。

